



沖縄県辺野古の普天間飛行場代替施設事業を巡り、連日のようにニュースが報道されています。報道のとおり、この事業には多くの問題があります。

しかし、まだまだ知られていないのが、辺野古を埋め立てることによる自然破壊の大きさ、深刻さです。

**辺野古・大浦湾とは、いったいどんな場所なのか。**  
文化人類学者、地理学者、生物学者、ジャーナリストがこの海を、それぞれの観点からご紹介します。

**なぜ、辺野古の海を埋め立てることが問題なのか。**  
この海域を 10 年以上調査をしてきた日本自然保護協会が、自然保護にフォーカスして、この計画がもたらす意味をみなさんと一緒に考えます。

■基調講演

「誰がジュゴンを語るのか～ジュゴンと人との関わり」吉川秀樹／沖縄・生物多様性市民ネットワーク

「沿岸地域自然環境の保護における場の多様性の意義～沖縄島・辺野古大浦湾を例に～」中井達郎／国士館大学ほか

「市民参加調査から見えてきた辺野古・大浦湾の自然環境の重要性」吉田正人／IUCN-J 会長、筑波大学大学院

「世界に誇る辺野古・大浦湾のサンゴ礁の海」安部真理子／日本自然保護協会

■パネルディスカッション

コーディネイター：吉田正人  
吉川秀樹、中井達郎、安部真理子、まさのあつこ（ジャーナリスト）

## 日本自然保護協会主催

# 辺野古の海の生物多様性を伝えるシンポジウム

2015 年 9 月 13 日(日)13:30～17:00

法政大学市ヶ谷キャンパス(外濠校舎 306 号室)／資料代 500 円

最寄り駅：市ヶ谷駅または飯田橋駅下車徒歩 10 分



主催：公益財団法人 日本自然保護協会(NACS-J) 後援：法政大学文学部地理学科

問合・申込先：日本自然保護協会 tel. 03-3553-4103 umi@nacsj.or.jp

当日受付もいたしますが、資料・会場準備のため事前申し込みにご協力ください。



NACS-J

\* この活動は、公益財団法人自然保護助成金・第 25 期(2014 年度) プロ・ナトゥーラ・ファンド助成によって実施します。